

# 岐阜市立長良西小学校 実績報告書

学校名	岐阜市立長良西小学校		
所在地	岐阜市千代田町2丁目1番地		
学校規模	全校生徒数	611人	クラス数 25クラス
本事業への参加者	2年・105人 4年・98人 5年101人 6年・87人		
実施概要	月	概 要	
	4・5月	■カナダオリンピック選手との交流	○6年生児童とエルモア選手との交流 ＜内容＞日本の伝統、岐阜の伝統について紹介し、交流を深める。(4/20)
	6月	■特別活動	・I'm Possible での学習(座学) ・パラ種目についての学習
	7月	■特別活動	・I'm Possible での学習(座学) ・パラ種目についての学習
	8月	■自主学習	・身近にあるカナダを探してみよう ・パラリンピックについて調べよう
	9月	■特別活動	【4年生事前学習】 ・ゴールボールについて知ろう
	10月	■保健体育 ■特別活動 ■講演会	・パラ種目の体験 ・パラリンピアンの方の講演 ○4年生 ゴールボール体験 (10/4)
	11月	■特別活動	【2年生事前学習】 ・ブラインドサッカーについて知ろう
		■保健体育 ■特別活動	・パラ種目の体験 ・講師よりブラインドサッカーについて説明 ○2年生ブラインドサッカー体験 (11/27)
	12月	■特別活動	【6年生事前学習】 ・ブラインドマラソンについて知ろう
■保健体育 ■特別活動 ■講演会		・パラ種目の体験 ・講師よりブラインドマラソンについて説明 ○6年生ブラインドマラソン体験 (12/14)	

	1月	■英語 総合	・カナダ陸上選手に向けた応援メッセージを送ろう ○6年生カナダ陸上選手への応援動画 実行員会によるメッセージ作成等
	2月	■英語	・カナダ陸上選手に向けた応援メッセージを送ろう ○4・5・6年で応援動画撮影 (2/29)
	3月		

## 実施内容詳細

### <6年生児童とエルモア選手との交流>

開催日時	令和5年4月20日 13時45分～15時00分(75分)
会場	わくわく広場
参加者	6年 87人
ねらい・目的	日本の伝統、岐阜の伝統について紹介し、交流を深める。
活動内容	○岐阜の伝統や、日本の伝統について児童より紹介した。 また、体験活動をエルモア選手に行っていただけのような準備し、書道・折り紙体験等を行った。さらに、質問をさせていただき、交流を深めた。
実施の様子	  <p>「折り紙体験の様子」</p> <p>「書道体験」</p>
児童・生徒の反応	日本や岐阜の伝統を伝えたり、日本ならではの体験活動を取り入れたりして、実演してもらったことで、エルモア選手が楽しく活動をしてくださりとても嬉しかったし、良い交流ができたと思います。
取組み結果	子供たちが、外国の方をもてなそうと、様々な企画を考えて実行することで、外国の方とつながる楽しさを味わうことができた。

## <4年生ゴールボール体験活動>

開催日時	令和5年10月4日 9時30分～12時00分（150分）
会場	体育館
参加者	4年 98人
ねらい・目的	オリンピックの講話を聴いたり、ゴールボール体験活動を行ったりすることで、自分の夢やこれからの人生について考えることができる。
活動内容	3クラスごとに、講話と体験活動を行った。 ① オリンピアンを紹介 ② オリンピアンによる講話 「パラオリンピックについて・ゴールボールについて」 ③ ゴールボール体験 ④ 感想交流・お礼
実施の様子	  <p>「講話の様子」 「活動の様子」</p>  <p>「活動の様子」</p>
児童・生徒の反応	初めてゴールボール体験をして、ボールがとても重たくてびっくりしました。また、目を閉じてやってみただけ、静かにして鈴の音を聞かないとボールの位置が全く分かりませんでした。田口選手はすごいなと思いました。
取組み結果	パリパラオリンピックに選考されるようなすごい選手を目の前で見られて、子供たちも教員も嬉しかったです。自分の夢に向かって頑張っている田口選手の思いを聞いて、自分の生き方を考えられるきっかけとなりました。

## <2年生ブラインドサッカー体験活動>

開催日時	令和5年11月27日 9時30分～12時00分(150分)
会場	体育館
参加者	2年 105人
ねらい・目的	講師の話を聴いたり、ブラインドサッカーの体験活動を行ったりすることで、障がい者スポーツの事をさらによく知ることができる。
活動内容	3クラスごとに、講話と体験活動を行った。 ① 講師の紹介 ② 講師による講話（ブラインドサッカーについて） ③ ゴールボール体験 ④ 感想交流・お礼
実施の様子	 <p>「講話の様子」</p>    <p>「活動の様子」</p>
児童・生徒の反応	事前に障がい者スポーツについて学習して、ブラインドサッカーについて学ぶことができた。 ブラインドサッカーを初めてやったけど、目隠しをしてボールを蹴ることはとても難しかった。また、ボールの中に鈴が入っていることも初めて知って驚きました。
取組み結果	事前・当日・事後、子供たちと障がい者スポーツについて考える時間を作ったことで、障がい者スポーツについて関心を深めたり、理解を育むことができた。

## <6年生ブラインドマラソン体験活動>

開催日時	令和5年12月14日 10時30分～12時00分(90分)
会場	体育館及び運動場
参加者	6年 87人
ねらい・目的	オリンピックの講話を聴いたり、ブラインドマラソン体験活動を通して、障がい者スポーツについて知ったり、自分の夢やこれからの人生について考えたりすることができる。
活動内容	3クラス一斉に、講話と体験活動を行った。 ① オリンピアンを紹介 ② オリンピアンによる講話 「障害を患ってからの人生について・ブラインドマラソンについて」 ③ ブラインドマラソン体験 ④ 感想交流・お礼
実施の様子	 <p>「講話の様子」</p>    <p>「活動の様子」</p>
児童・生徒の反応	様々な事柄が重なって視力を失っていく近藤選手が、その後も走ることを諦めず、やり続けたことがとてもすごいことだと思いました。
取組み結果	近藤選手の走る事への思いや価値を子供たちに話をしてくださって、子供たち自身、これからの様々な出来事に向かって、頑張る勇気をいただけた時間でした。

## <4・5・6年生 カナダ陸上選手への応援動画撮影>

開催日時	令和6年2月29日 13時30分～15時00分（90分）
会場	体育館
参加者	4年 98人 5年101人 6年87人
ねらい・目的	応援動画撮影を通して、カナダの方とつながろう。
活動内容	4・5・6年合同で、応援動画の撮影をおこなった ① 応援動画撮影に向けた練習 ② 応援動画撮影 ③ 応援動画の修正 ④ 応援動画撮影
実施の様子	 <p style="text-align: center;">「活動の様子」</p>
児童・生徒の反応	カナダの陸上選手が合宿で岐阜に来てくださるので、少しでも岐阜の良さを知ってもらったり、元気やパワーを与えられたりできたらいいなと思って参加しました。
取組み結果	岐阜の良さや応援している気持ちがカナダ選手に伝わるように実行委員の子が英語でのパフォーマンスを考えたて積極的に取り組んでくれた。是非、思いが届くとよいなと思っています。

## 岐阜市立三里学校 実績報告書

学校名	岐阜市立三里学校			
所在地	岐阜市六条北2丁目5番1号			
学校規模	全校生徒数	745	クラス数	27
本事業への参加者	4年・136人			
実施概要	月	概 要		
	5月	「I' m possible」	・I' m possible 小学校用教材を用いてパラリンピックについて学ぶ。	
	6月	「誰もが暮らしやすい社会にするために」	・福祉についてテーマ別探求学習(本、インターネット)	
	7月	「誰もが暮らしやすい社会にするために」	・プレゼンテーション作り、発表	
	8月			
	9月			
	10月	「ゴールボール田口侑治選手講演・体験会」 「ボッチャ体験会」	・田口侑治選手の講演会+ゴールボール体験会 ・(株)リーフラスより講師の石谷さんを招いてボッチャ体験	
	11月	「石田選手講演・体験会」	・パラ陸上 石田駆選手を招いて講演会、体験会	
	12月	「学習発表会」	・4月から積み重ねてきた学習内容をプレゼンテーションや体験を通して3年生に伝える会を行った。(岐阜県障害者スポーツ協会よりボッチャ用具借用)	
	1月			
	2月			
3月				

### 実施内容詳細

#### <田口侑治選手との交流会>

開催日時	令和5年10月3日 11時30分～15時30分(150分)
会場	体育館
参加者	4年 136人
ねらい・目的	・田口選手から話を聞くことを通して、視覚障がいをもった

	<p>人たちの生活や思いを知ることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ゴールボールの体験を通してパラスポーツと親しむことができる。</li> </ul>
活動内容	<p>○田口選手講演会          内容：病気について、生活、ゴールボールについて、大切にしていること など</p> <p>○ゴールボール体験会（40分×4クラス）          内容：競技の説明 先生との対決 ミニゲーム</p>
実施の様子	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>左【ゴールボールミニゲームの様子】          右【田口選手からゴールボールの説明を受ける様子】</p>
児童・生徒の反応	<p>田口選手は、たしかんやにニジして、いじんなけいけんをしてみで、自分の生き方が分かるたんだと感じました。</p> <p>視力に障がいがある人はとてもくろくしているし分かりました。</p> <p>ゴールボールのボールは、かたいと重くておどろいた。音だけでほんかんするのとはとてもむずかしかった。田口選手は音だけでボールの位置かわがらるめで、すごいと思いました。</p> <p>たけいするときも、重くてよろけそうだった。ゴールボールの選手たちは、重いボールを思うようになけいたり、フロックしたりするので、糸東習も言詞合も大変なんだと思った。その日のパラリンピックはゴールボールを見ようと思った。佐いせのなけいけんができたと思いました。</p>
取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体験前に様々な障がいについて調べ交流したり、ゴールボ</li> </ul>

	<p>ールについて調べたりしたこと、視覚障がいについて児童の中にイメージがあった。実際に田口選手と交流することを通して「思っていたことと違った。」や「考えていたよりもすごかった。」と考えが変わる児童が多かった。障がい者=困っている人、助けが必要な人というだけの思いから、努力することのできないことを克服したり、世界を目指す選手になれたりすることを児童が知ることができた。</p>
--	---

### <ボッチャ体験>

開催日時	令和5年10月23日 13時00分～15時40分 (160分)
会場	体育館
参加者	4年 136人
ねらい・目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボッチャの体験を通してパラスポーツを知り、親しむことができる。</li> </ul>
活動内容	<p>クラス別ボッチャ体験</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・競技の説明 やり方</li> <li>・体験ゲーム</li> </ul>
実施の様子	 <p>【ボッチャ体験ゲームの様子】</p>  <p>【講師の石谷さんの説明】</p>

<p>児童・生徒の反応</p>	<p>私はボッチャを体験して、ゴールボールと同じ障がいがある人もない人も楽しめるやさしいスポーツだと感じました。ボッチャのチーム戦なら障がいがある人も仲間と協力して楽しむことができるスポーツだと思いました。(中略) ボールを左手で投げた時、全然思った方向に転がりませんでした。だから、障がいがあるって大変なんだと改めて思いました。(中略) しょうがいがあってもなくてもスポーツを楽しむというところは同じだなと思いました。</p> <p>(前略) ボッチャは障がいのある人、子ども、障がいがない人も自由にできるスポーツなのですごいと思いました。3年生に体験したことを伝えたいと思いました。</p>
<p>取組み結果</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボッチャが、障がいの有無に関わらず楽しむことができるスポーツであるということを知ることができた。</li> <li>・純粋にボッチャを楽しむことができ、パラスポーツを身近に感じる事ができた。</li> </ul>

### <石田駆選手との交流会>

<p>開催日時</p>	<p>令和5年11月20日 10時30分～12時00分(90分)</p>
<p>会場</p>	<p>体育館</p>
<p>参加者</p>	<p>4年 136人</p>
<p>ねらい・目的</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障がいがあってもアスリートとして活躍する石田選手から、その生き方について学ぶことができる。</li> <li>・一緒に走る活動を通してパラリンピアンとして世界で活躍する石田選手のすごさを感じることができる。</li> </ul>
<p>活動内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○石田選手講演会 <ul style="list-style-type: none"> <li>生き立ち 大切にしていること</li> <li>子どもたちに伝えたいこと など</li> </ul> </li> <li>○50メートル走体験会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・石田選手から走り方のコツを教えてもらう。</li> <li>・一緒に50メートルを走ってみる。</li> </ul> </li> </ul>

実施の様子	 <p style="text-align: center;"><b>【50メートル走体験会の様子】</b></p>
児童・生徒の反応	<p>石田選手といっしょに走った時に石田選手にすぐにぬかされたのですごくびっくりした。(中略)石田選手はあきらめずに陸上を続けられてすごいと思った。石田選手みたいにびょうきになってもあきらめずにそれまでやっていたことを続けたいと思った。銀メダルをさわった時に点字があったから目が見えない人もさわって字がよめるようになっている。銀メダルをもったらすごく重くてびっくりした。</p> <p>石田選手は大きな病気をしたのにあきらめず、陸上を続けてすごいと思いました。(中略)一緒に走ったら班でありでもすぐにぬかされて、体にしょうがいがあるかもわからなかった。パリのパラリンピックは特に石田選手をおうえんしたい。</p>
取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実際の選手の走りを目の当たりにすることで、そのすごさを感じることができた。また、アジア大会の銀メダルを見せてもらい、点字があることなど、実物を見ないとわからないことを知ることができた。また、岐阜県ゆかりの選手を身近に感じ、応援していきたいという気持ちになる児童もいた。</li> </ul>

### <学習発表会>

開催日時	令和5年12月14日 10時40分～12時00分(80分)
会場	アゴラ教室
参加者	3, 4年 66人
ねらい・目的	4年:3年生に伝えることを通して、学習内容を再確認し自分の生き方に繋げて考えたり、話し方や伝え方など表現の方法を身につけたりすることができる。

	3年：来年度学習する内容に興味や憧れをもつことができる。
活動内容	<p>○ワークショップ形式での発表会</p> <p>○テーマ</p> <p>ボッチャ体験、ゴールボール体験、パラリンピックについて、石田駆選手について、視覚障がい者の生活について、社会の中にある工夫について 等</p>
実施の様子	<div data-bbox="523 486 1401 810" data-label="Image"> </div> <p>左【ゴールボール体験の様子】</p> <p>右【岐阜県ゆかりのパラリンピアンについてプレゼンする様子】</p> <div data-bbox="523 927 930 1229" data-label="Image"> </div> <p>【ボッチャ体験の様子】</p>
児童・生徒の反応	<div data-bbox="523 1317 1390 1525" data-label="Text"> <p>ゴールボールの体けんでは、じっさいに体けんできて楽しかったです。じゅんびはすごくかんたんなので家ぞくみんなで遊んでみようと思いました。(中略) だれでもくらしやすい街にするためにいろいろな人をたすけていい街にしようと思いました。(3年生)</p> </div> <div data-bbox="523 1559 1390 1865" data-label="Text"> <p>私はボッチャのことが3年生にうまく伝わるように、まとめなどでかんたんにボッチャのことを説明しました。まずは、ボッチャのルールがかんたんなこと、ボッチャの道具には工夫がしてあること、ボッチャはしょうがいがあるなしに関わらず、みんなが楽しめることを3年生に伝わるように大きな声で話しました。(4年生)</p> </div>
取組み結果	<p>・昨年度の反省を生かして、学習した内容児童の中に学びとして残るような振り返りを位置付けたいという願いのもと</p>

	<p>活動を仕組んだ。下級生に伝えるという使命があるからこそ、自分が感じたことや教えてもらったことを再確認し、児童が自分の言葉として再構築することができた。結果、体験や学習した内容がより深まり、児童の中で印象深い一面として残すことができたと感じる。</p>
--	--



## 各務原市立緑苑小学校 実績報告書

学校名	各務原市立緑苑小学校			
所在地	各務原市緑苑北1丁目26番地			
学校規模	全校生徒数	122	クラス数	8
本事業への参加者	4・5・6年生 計64名			
実施概要	月	概 要		
	5月	石田選手を応援しよう	応援メッセージ動画を撮影	
	6月			
	7月	ブラインドマラソン 体験教室	近藤寛子選手の講演とブラインドマラソンの体験	
	8月			
	9月			
	10月	ボッチャ競技体験会	ボッチャ競技の体験	
	11月			
	12月			
	1月			
	2月	ホストタウン交流会	カナダ岐阜県人会から紹介いただいたカナダの方とオンライン交流	
	3月			

### 実施内容詳細

#### <近藤寛子選手によるブラインドマラソン体験>

開催日時	令和5年7月4日 10時45分～12時10分
会場	体育館・運動場
参加者	4, 5, 6年生 計64名
活動内容	<p>「近藤寛子選手」との交流会（式次第）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. はじめの言葉</li> <li>2. 講師紹介</li> <li>3. 講演 演目「あきらめない心」（体育館）</li> <li>4. ブラインドマラソン体験 （運動場）</li> <li>5. 質問</li> <li>6. お礼の言葉</li> <li>7. 記念撮影</li> <li>8. おわりの言葉</li> </ol>

	<p>【講演：演目「あきらめない心」】</p> <p>ブラインドマラソンを始めたきっかけや、パラスポーツを通して学んだこと、小学生に伝えたいことなどをお話いただいた。（４５分）</p> <p>【ブラインドマラソン体験会】</p> <p>近藤選手ほか、伴走者２名の方とも一緒に、ブラインドマラソンを運動場で体験した。（４５分）</p>
実際の様子	 <p>講演会の様子                      ブラインドマラソン体験の様子</p>
児童・生徒の反応	<p>「話を聞いて、視覚に障がいをもった方への考え方（イメージ）が変わった。目は見えなくても、やる気があればなんでもできることを学んだ。」（感想）</p> <p>「最初に、伴走者を体験したとき予想以上に難しかったです。次にアイマスクをして走者として走ったとき、とても怖かったです。お互いのことを信じていないとできないなと思いました。」（感想）</p>
取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前半の講演会は、福祉教育の観点およびキャリア教育の観点からの内容でもあり、有意義な時間となった。前半の講話は理解を深めるためにも大切だと感じた。</li> <li>・運動場での体験は熱中症を心配した。定期的な水分補給やテント設営等で対応し無事終了したが、７月、９月の実施は体育館利用にしてもできるだけ避けたい。</li> </ul>

### <ボッチャ競技の体験会>

開催日時	令和５年１０月２７日（１０時４５分～１２時２０分）
会場	体育館
参加者	４，５年生 と ６年生 計６４人
活動内容（ねらい）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボッチャ競技の魅力やボッチャ競技におけるコミュニケーションの取り方を学び、実際に競技を体験する。</li> <li>・障がいの有無に関係なく誰でも楽しめるスポーツであることを知ることで「共生社会」への理解を深める。</li> </ul>

<p>実施の様子</p>	 <p>【ボッチャ競技体験の様子】 ↑ ↓</p>
<p>児童・生徒の反応</p>	<p>「思っていたよりも、思うように投げることができず、難しいなと思った」(感想)</p> <p>「高い点をとれるように考えて投げることができた。見た目よりも難しかったが、楽しかった。」(感想)</p> <p>「ハンデをつけて投げたときに、ハンデによって、投げ方のコツが違って、簡単そうに見えたけど、実際は違った。ちょっと見方がかわった。」(感想)</p>
<p>取組み結果</p>	<p>スポーツができることは当たり前ではなく『仲間がいるから』『学校があるから』で、『感謝』の気持ちを忘れてはいけないとメッセージをいただけよかった。</p> <p>現地での体験や感じたことを話してくださったことは、教師にはできないことなので、子どもたちの心に残ったようだった。</p> <p>ボッチャという競技を知るきっかけとしてよかったと思う。学校行事の中で、今後活用の可能性があることを感じた。</p>

## <カナダ岐阜県人会とのオンライン交流など>

開催日時	令和6年2月9日 8時30分～9時30分 (■分)
会場	多目的室 (オンライン交流)
参加者	6年生 23名
ねらい・目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カナダについて理解を深める。</li> <li>・英語による「各務原の紹介スピーチ」を通して、ふるさとの魅力を再認識しつつ、英語によるコミュニケーションの楽しさを味わう。</li> </ul>
活動内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 開会あいさつ (県スポーツ課)</li> <li>2. 田中さん (県人会) のあいさつ</li> <li>3. 校長あいさつ</li> <li>4. カナダの紹介 (QAセッション)</li> <li>5. 各務原の紹介 (緑苑小6年生) QAセッション</li> <li>6. カナダ岐阜県人会より</li> <li>7. メッセージ</li> <li>8. まとめ</li> <li>9. 記念撮影</li> </ol>
実施の様子	 <p>【スピーチ&amp;QAセッションの様子】と記念撮影</p>
児童・生徒の反応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちは緊張した様子であったが、自分の担当場面のスピーチをやりきり、英語によるコミュニケーションを楽しむ姿があった。」ライブで行えたことで、よりその実感したようであった。(児童の反応)</li> <li>・カナダ在住の方から直接話を聴けたこと、質問できたことに、楽しさを感じていた。(児童の反応)</li> </ul>

<b>取組み結果</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>・英語でのスピーチを通して、ふるさとである「各務原」のよさを子どもたちは実感できた。</li><li>・その場で、英語のやりとりを行えば理想であるが、セリフは決まっていますが、ライブでの開催はコミュニケーションをとっている実感があり、子どもたちの心の残るものになったと考える。貴重な体験ができたのではないかと。</li><li>・世界に出て活動する、同郷の方とのコミュニケーションも、子どもたちの刺激になったようである。</li><li>・接続の不安定など機器トラブルを心配したが、必要な機器を増設したこと、経験も積んできたことから、大きなトラブルなく、交流を終えることができた。</li></ul>
--------------	--



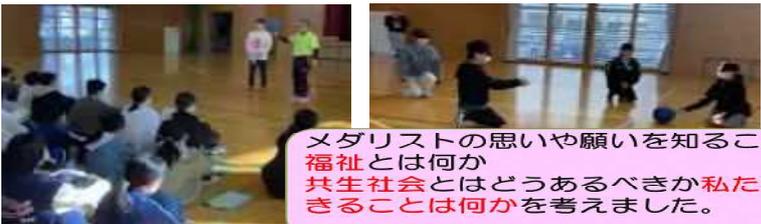
## 関市立旭ヶ丘小学校 実績報告書

学校名	関市立旭ヶ丘小学校			
所在地	岐阜県関市旭ヶ丘2丁目1番1号			
学校規模	全校生徒数	336人	クラス数	13
本事業への参加者	4年71人、6年年68人			
実施概要	月	概 要		
	5月			
	6月			
	7月			
	8月			
	9月	【6年】 オリンピック・パラリンピックレガシー 石田駆選手による陸上体験会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・石田選手の生き方に学ぶ</li> <li>・一緒に走る</li> </ul>	
	10月			
	11月	【6年】 中嶋茜選手との交流会、ゴールボールの体験	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中嶋選手の生き方に学ぶ</li> <li>・ゴールボール体験を行う</li> </ul>	
	12月			
	1月	【4年】 カナダオリンピック選手との交流	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パラリンピック、カナダの文化を学ぶ</li> <li>・8の字跳びを行う</li> </ul>	
	2月			
3月	【4年】 カナダ在留日本人の方との交流	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カナダの文化交流</li> <li>※オンラインでの交流</li> </ul>		

<オリンピック・パラリンピックレガシー 石田駆選手による陸上体験会>

開催日時	令和5年9月4日 10時45分～12時20分（95分）
会場	音楽室 運動場
参加者	6年 68人
ねらい・目的	パラリンピックやパラスポーツを通じた共生社会の推進
活動内容	1、石田駆選手による講話 陸上をはじめたきっかけ・パラリンピック出場までの経験。 2、石田駆選手と一緒に陸上競技
実施の様子	1、石田駆選手による講話 陸上をはじめたきっかけ・パラリンピック出場までの経験を語っていただき、質疑応答・記念撮影をしました。  <p>パラリンピアンからの言葉や姿に 励まされ今後の生き方を考えました</p> 2、石田駆選手と一緒に陸上競技 運動場で石田選手と一緒に短距離走を体験しました。  <p>石田選手の足の速さに驚きました！</p>
児童・生徒の反応	<ul style="list-style-type: none"> <li>今日の講話で「継続は力なり」という言葉をきっかけに、私もあきらめず、夢を追い続けたいと改めて思いました。今でも新記録を出そうと頑張っている石田選手はみんなのあこがれです。</li> <li>足の速さに驚いた。テニスを習っているので石田選手のようにいろいろな体験をして、僕も強くなりたいと思った。</li> </ul>
取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>実際に活躍しているパラアスリートの石田選手の生の声を聞き、一緒に活動できたことは子供たちの一生の宝物になると感じました。貴重な体験をさせていただき感謝しています。</li> </ul>  <p>校内掲示・学校だよりに掲載させていただきました。</p>

## <中嶋茜選手との交流会、ゴールボールの体験>

開催日時	令和5年11月21日 10時45分～12時20分(95分)
会場	体育館
参加者	6年 68人
ねらい・目的	パラリンピックやパラスポーツを通じた共生社会の推進
活動内容	1、 中嶋茜選手による講話 2、 中嶋茜選手・水野慎治氏によるゴールボール体験
実施の様子	<p>1、 中嶋茜選手による講話 パラリンピックの金メダリストである中嶋選手から視覚障がい者の方への接し方や障がいや性別、年齢などの違いを尊重していく大切さを学びました。</p>  <p>2、 中嶋茜選手・水野慎治氏によるゴールボール体験</p>  <p>メダリストの思いや願いを知ること 福祉とは何か 共生社会とはどうあるべきか私たちにできることは何かを考えました。</p>
児童・生徒の反応	<p>中嶋選手の「運動が得意ではなく体も大きくないが、継続することでパラリンピックに出場できた。好き・楽しいと思うことを続けること、そして障がいについて知ることが大切。」という言葉が心に残りました。人と比べて上手でなくても好きなことを続けていくことの大切さが分かったし、様々なことを知ることによって、自分の世界が広がり、それが自分を守る力になり、差別や偏見いじめを減らすことにつながると感じました。</p>
取組み結果	<p>体験に基づいて感じられたことを分かりやすくお話していただき、障がいについての理解が深まりました。金メダルを触らせていただき、子どもたちは感動していました。素晴らしい体験をさせていただき、ありがとうございました。</p> <p>校内掲示させていただきました。</p> 

## ＜カナダ陸上連盟との交流会、8の字跳びの体験＞

開催日時	令和6年1月24日 13時15分～14時20分（65分）
会場	体育館
参加者	4年 71人
ねらい・目的	パラリンピックやパラスポーツを通じた共生社会の推進
活動内容	1、 カナダ陸上競技連盟からカナダ陸上選手の紹介 2、 カナダ陸上連盟と8の字跳び体験
実施の様子	<p>1、 カナダ陸上競技連盟からカナダ陸上選手の紹介</p>  <p>2、 カナダ陸上連盟と8の字跳び体験</p> 
児童・生徒の反応	・カナダの素敵どころが分かってすごく楽しかった。日本もカナダも一生懸命応援したい。
取組み結果	<p>実際に活躍しているアスリートの選手の方々と運動したり、カナダの文化についてお話を聞いたりできて楽しい時間を共有できました。ありがとうございました。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block; margin-bottom: 10px;"> <p>校内掲示・学校だよりに掲載させていただきました。</p> </div> 

## 多治見市立笠原小学校 実績報告書

学校名	多治見市立笠原小学校			
所在地	多治見市笠原町3387-9			
学校規模	全校生徒数	341	クラス数	14
本事業への参加者	5年・61人			
実施概要	月	概 要		
	5月	校内職員に「岐阜県とカナダとのホストタウン交流推進事業」についての周知	5年生職員を中心として、「岐阜県とカナダとのホストタウン交流推進事業」の概要等、今年度の計画について提案した。	
	7月	パラスポーツの理解	体験を行う車いすバスケットボールをはじめとしたパラスポーツを知る機会を位置付けた。	
	9月	網本麻里選手を招いての講話と車いすバスケットボール体験	本事業のテーマの1つである「共生社会の実現」に向けた取組として、東京パラリンピック車いすバスケットボール女子日本代表の網本麻里選手を招いて講話と体験授業を行った。	
	11月	網本麻里選手アジアパラ大会銀メダル獲得記念凱旋報告会	アジアパラ大会で銀メダルを獲得した網本麻里選手に今年度2回目の訪問をしていただき、大会の様子を紹介してもらったり、銀メダルを見せてもらったりした。	
	12月	カナダについて知る	オンライン交流に向けてカナダについて予備知識をもつ機会を設けた。	
	1月	Unit7 「Welcome to Japan」の学習	2月に行うオンライン交流に向けて、英語の学習単元で交流内容を考えた。	
	2月	カナダ県人会のご協力によるカナダとのオンライン交流	カナダ県人会の鷺見英樹さんとコーディネーターの田中恵美子さんの協力を得て、カナダ現地の方との英語でのコミュニケーション活動を行った。	
	3月	カナダパラ陸連の選手に向けての応援メッセージ動画の製作	5月開催予定の神戸パラ陸上に出場する選手向けに応援動画の製作を行った。	

## 実施内容詳細①

### ＜パラアスリート網本麻里選手に学ぶ～講演会&車いすバスケットボール体験～＞

開催日時	令和5年9月26日（火） 9時25分～11時25分（120分）
会場	多治見市立笠原小学校 体育館
参加者	5年 61人 ・ 5年生保護者 12名
ねらい・目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 講話や体験を「本物を知る・一流の人を知る」貴重な機会とすることができる。</li> <li>・ パラリンピックの経験や、現在に至るまでの網本麻里選手の生き方や、ものの見方・考え方に触れることで「共生社会の実現」に向けて主体的に行動する</li> </ul>
活動内容	<p>＜はじめの会＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 児童代表と校長からの歓迎のあいさつ</li> <li>・ 児童による講師紹介</li> </ul> <p>＜講話＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 網本麻里選手の生い立ちについて</li> <li>・ 東京パラリンピックの選手村の様子をはじめ、児童たちが眼にすることのない「パラリンピックの裏側」</li> <li>・ 車いすバスケットボールとは？</li> </ul> <p>＜体験授業＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 競技用車いすの操作練習</li> <li>・ 車いすに乗ってのシュート練習</li> <li>・ 車いすバスケットボールの試合体験</li> </ul> <p>＜終わりの会＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 児童代表と校長からのお礼の言葉</li> <li>・ 花束と記念品贈呈</li> <li>・ 記念の集合写真撮影</li> <li>・ お見送りセレモニー</li> </ul>
実施の様子	 <p>【講演会の様子】      【車いすバスケットボール体験】      【車いすに乗っての試合】</p>
児童・生徒の反応	<p>今日はお忙しい中、来てくださりありがとうございました。私は障がいのある人たちのチームとダンスをしています。その中に車いすに乗っている人もいてもっといろいろな人とつながれる世の中になればいいなあとと思っています。給食の時の質問会、とても楽しかったです。また来てください！そしてパラリンピック頑張ってくださいね！ありがとうございました。</p>
取組み結果	<p>車いすバスケットボールという非日常のスポーツに対して児童の関心を寄せることができ、さらに網本麻里選手ならではの人間力に感服。しかし、競技用車いすの準備がやはり大変だった。</p>

## 実施内容詳細②

### ＜網本麻里選手アジアパラ大会銀メダル獲得記念 凱旋報告会＞

開催日時	令和5年11月29日（水） 13時30分～14時30分（60分）
会場	多治見市立笠原小学校 体育館
参加者	5年 61人
ねらい・目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アジアパラ大会で見事、銀メダルを獲得した網本麻里選手をお祝いする報告会を開催し、ともに喜びを分かち合うことができる。</li> <li>・講演会や車いすバスケットボール体験会を経て、再会を果たした網本選手への憧れを一層高め、「共生社会の実現」に向けて強く歩み出す心情を養う。</li> </ul>
活動内容	<p>＜はじめの会＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童代表と校長からの歓迎のあいさつ</li> <li>・花束と記念品の贈呈</li> </ul> <p>＜アジアパラ大会銀メダル獲得報告会＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・杭州アジアパラ大会の様子を紹介してもらおう</li> <li>・銀メダルを見せてもらう、触らせてもらう</li> </ul> <p>＜児童からお祝いのパフォーマンス＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運動会で披露した「ソーラン」を披露</li> <li>・記念の集合写真撮影</li> </ul> <p>＜終わりの会＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童代表と校長からのお礼の言葉</li> <li>・網本麻里選手によるお見送りを受け、児童退場</li> </ul>
実施の様子	 <p>【お祝いの花束の贈呈】 【アジアパラ大会の報告】 【銀メダルを間近で！】</p>
児童・生徒の反応	<p>銀メダルを見ることができてうれしかったです。触ってもよかったので、じっくり見ることができたし、首にかけてみることもできて感動しました。まりちゃん、ありがとうございました！これからも頑張ってください！応援しています！！</p> <p>銀メダル、重かった～。麻里ちゃんすごい！自分もこんな選手になれるように頑張りたいです！！！！</p>
取組み結果	<p>この日は偶然、網本麻里選手が東海地区を訪問する予定があり、その計画に便乗する形で実施することができた。銀メダルを触ることができたり、首に下げてみたりする貴重な体験もさせていただいた。本当にありがたかった。ただし、開催日程の関係で保護者懇談会の日だったので、時間の制約や参加児童が限られてしまったことが心残りであった。</p>

### 実施内容詳細③

#### <カナダ岐阜県人会とのオンライン交流>

開催日時	令和6年2月14日(水) 8時35分～10時10分(100分)
会場	多治見市立笠原小学校 音楽室
参加者	5年 61人
ねらい・目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの英語学習の既習事項を活用し、自分自身のコミュニケーション能力を試すことができる。</li> <li>・この機会を経て、「もっと話せるようになりたい」「もっと聞かれるようになりたい」という意欲を高めることができる。</li> <li>・「国際理解の推進」が一層、図られるように今回はカナダを知ることによって今後の足掛かりとすることができる。</li> </ul>
活動内容  ※同じ内容を2クラスで行う。	<はじめの会> ・校長あいさつ <笠原小5年生児童の発表> ・「Unit7 Welcome to Japan」の学習をもとに、おすすめの日本の四季と、四季を彩るイベントや観光地、食べ物等を紹介する。 ・カナダからの質問に答える。 <現地カナダからの発表> ・説明を聞きながら、プレゼンテーションを視聴する。 ・内容に応じた質問をする。 <終わりの会> ・児童からの感想を伝える。 ・カナダ岐阜県人会の鷺見会長からのお話を聞く。 ・お礼の言葉を述べる。 ・記念撮影を行う。
実施の様子	 <p>【オンラインで対話中①】 【オンラインで対話中②】 【最後の集合写真撮影】</p>
児童・生徒の反応	<p>話したことにうなずいたり、反応したりしてくれてうれしかった。自分の話している英語が伝わっていることが分かった。またやってみたいです。</p> <p>カナダの人の話を聞いて質問をすることができました。どきどきしたけど、答えてもらえてうれしかったです。</p>
取組み結果	<p>ネイティブとの交流ができ、実践的なコミュニケーションの場となった。コーディネーター(この日は通訳)の存在も心強かった。人数の関係から直接対話ができなかった児童もあり、心残り。しかし、このような機会があること自体が大変、ありがたい。</p>

## 岐阜市立島中学校 実績報告書

学校名	岐阜市立島中学校			
所在地	岐阜市則武西一丁目8-2			
学校規模	全校生徒数	573人	クラス数	21学級
本事業への参加者	2年生・陸上競技部員 231人			
実施概要	月	概 要		
	5月	タイトル	取組み概要を簡潔に記載	
	6月	陸上競技部とパラ選手との交流会	パラ陸上競技選手の講演と陸上部への技術指導	
	7月			
	8月			
	9月			
	10月			
	11月	キャリア学習と車いすバスケットの選手との交流会	車いす製作会社様による進路講演と車いすバスケット女子日本代表選手との交流	
	12月			
	1月			
	2月			
	3月			

### <パラ陸上競技選手と陸上部との交流>

開催日時	令和5年6月27日 15時30分～17時00分 (90分)
会場	教室・グラウンド
参加者	陸上競技部員 35人
ねらい・目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夢を諦めることなく努力し続ける生き方に憧れを持ち、夢を持ち続け、その達成に向けて努力し続けようとする意識を高める。</li> <li>・一流選手との交流から、練習に取り組む姿勢や効果的な練習方法を学ぶことを通して、技能の向上を図る。</li> </ul>
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・15:30～ 講話「困難を乗り越えた先にある栄光に向かって」</li> <li>・16:05～ 陸上講習 効果的なアップや練習方法 質疑応答 記念撮影</li> </ul> <p>講演会は、35名の陸上競技部員を会議室に集め、大型テレビモニターを利用して行った。石田選手は、自身の体の障がいのこと、パラ陸上競技との出会いについて、今後の目標を話して下さる中で、生徒たちに「夢をもって努力し続けることの大切さ」「生きていることの喜び」を伝えてくださった。</p> <p>陸上競技部員との合同練習では、速く走るために必要な足の動かし方やトレーニング方法について丁寧に教えていただいた。</p> <p>本格的なストレッチや走基本の練習に、生徒たちも息が上がりフラフラになっていた。</p>

	<p>最後は、生徒たちとの50m競走を行った。石田選手が遅れてスタートするなど、生徒たちに有利なレースを仕組んでくださったが、全く歯が立たず、一流アスリートとしての力の差を見せてくださった。</p>
実施の様子	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>走基本の練習</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>部員との50m走</p> </div> </div>
児童・生徒の反応	<p>石田選手との練習は、とても楽しかったです。普段、何気なくやっていた基本練習も細かな体の動かし方や効果を丁寧に教えてくださったので、今後の練習では意識してやっていこうと思いました。50m競走では、あっという間に追い抜かされてしまい、一流選手との力の差を感じました。</p>
取組み結果	<p>昨年は、事業実施日が10月で、3年生が引退した後だったため、参加人数が20名ほどと少なくなりました。その反省を踏まえ、今年度は、6月開催としたところ35名の陸上部員と5名の有志が参加できた。</p> <p>石田選手は、大会前の大切な中で、時間を割いて来校してくださり、生徒たちに一生懸命に指導をしてくださった。</p> <p>生徒たちも真剣に話を聞いたり、練習に取り組んだりすることができ、一流の指導、一流の技に触れることができた良い機会となった。</p>

### <キャリア学習と車いすバスケットの選手との交流会>

開催日時	令和5年11月30日 10時35分～12時15分 (100分)
会場	体育館
参加者	2年 196人
ねらい・目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の仕事に誇りを持ち、製品を使う人のことを考え、追究し続ける姿勢に触れることで、仕事に取り組む姿勢や進路を選択する上で大切なことを感じ取ることができる。</li> <li>・ハンディキャップに負けず、自分にできることに前向きに取り組む生き方に憧れをもち、困難に負けず、明るく前向きに生きようとする意識を高める。</li> </ul>
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・10:35～ 松永製作所 講話「パラアスリートを支える企業」</li> <li>・10:45～ 網本選手 講話「パラリンピアンとしての経験」</li> <li>・11:00～ 車いすバスケ体験 (5人×6学級)</li> <li>・12:00～ まとめの会 お礼 2年生代表生徒の話</li> </ul> <p>講演会は、2年生全学級を体育館に集め、プロジェクターとスクリーンを使</p>

	<p>って行った。松永製作所の方には、主にキャリア学習の意味合いを強くした商品開発にかける思いや工夫点について話をいただいた。特に、「車いすを使われる方の思いや使用方法など、細かなニーズに合わせて製作することが大切。」という思いに多くの生徒が感銘を受けた。</p> <p>車いすバスケット日本代表の網本選手との交流会では、各学級5名の計30名が競技用の車いすを体験した。まず真っすぐ前進することや後退すること、向きを変えることや止まることなどの基本操作を教えていただいた。</p> <p>生徒たちが、なかなか真っすぐに進むことができずに困惑している中、車いすを華麗に操って素早く移動する選手の動きには、見学している生徒も思わず歓声を上げていた。</p> <p>基本的な動きを練習した後は、車いすバスケット対決を行った。各学級代表チームと先生チームとの対戦では、普段に見る先生の様子とのギャップが生徒たちを大いに盛り上げた。</p> <p>こうして、実際に体験した生徒だけでなく、周りで見学をしていた生徒たちも一緒になって楽しみ、盛り上がることもできた。</p>
<p><b>実施の様子</b></p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <div style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">       車いすバスケットを楽しむ生徒たち     </div>
<p><b>児童・生徒の反応</b></p>	<p>網本選手の車いすでの素早い動きは、本当にすごいと思いました。ボールをカットされて、追いかけても全く追いつくことができず悔しい思いをしました。障がいがあっても努力と工夫で、できないことは無くなっていくんだと網本選手を見て思いました。自分もバスケットをやるので、もっともっと練習して、できることを増やしていきたいです。</p>
<p><b>取組み結果</b></p>	<p>昨年度の事業実施日が12月で、寒い体育館での実施となり、大型ストーブを使用して暖を取って行った。今年度は11月の実施だったが、比較的暖かくストーブの使用はしなかったのも、話を聞いたり活動を行ったりする環境としては良かった。</p> <p>今年度も松永製作所様の進路講演と車いすバスケット体験をセットで行ったが、どちらも生徒にとって有意義な体験となった。</p>



## 岐阜市立岐阜特別支援学校 実績報告書

学校名	岐阜市立岐阜特別支援学校			
所在地	岐阜市小西郷3丁目120番地2			
学校規模	全校生徒数	239人	クラス数	47学級
本事業への参加者	高等部1・2・3年・5人			
実施概要	月	概 要		
	1月	カナダ選手への応援メッセージ動画撮影準備	・動画撮影参加生徒募集 ・カナダ国旗等グッズ作り	
	2月	カナダ選手への応援メッセージ動画撮影	・世界パラ陸上2024神戸に出場するカナダ選手に向けた応援メッセージ動画	
	3月	振り返り	・今年度取組の反省	

### 実施内容詳細

#### <カナダ選手への応援メッセージ動画撮影>

開催日時	令和6年2月28日(水) 12時30分～13時15分(45分)
会場	音楽室
参加者	高等部1年1人・2年3人・3年1人
活動内容	有志で集まった生徒5名が1人ずつカナダ国旗(生徒が色塗りをしたもの)を持って、陸上選手への応援メッセージを話し、それを撮影していただいた。
実施の様子	 <p>応援動画撮影の様子</p>

<p>児童・生徒の反応</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緊張したけど、しっかり話せて良かった。</li> <li>・陸上の大会でがんばって良い結果を出してほしい。</li> </ul>
<p>取組み結果</p>	<p>あまり準備に時間をかけられなかったが、人のために頑張れたという実感が生徒に残り、とても心温まる活動になった。動画の時間は短かったが、グッズ等の準備がもう少しできると良かった。</p>

## 岐阜県立岐阜商業高等学校 実績報告書

学校名	岐阜県立岐阜商業高等学校			
所在地	岐阜県岐阜市則武新屋敷1861-6			
学校規模	全校生徒数	1,063	クラス数	27
本事業への参加者	3年・40人、陸上部・人			
実施概要	月	概 要		
	10月	事前学習	I' m Possible での学習	
	11月	カナダを知る取組	カナダ岐阜県人会の方とのオンライン交流	
	12月	パラスポーツ体験	車いすバスケットボール体験	
	1月			
	2月	メッセージ動画撮影	カナダ選手に向けたメッセージ動画撮影	
	3月			

### 実施内容詳細

#### ＜事前学習（I' m possible を使った授業）＞

開催日時	令和5年10月16日 10時45分～11時35分（50分）
会場	本校（3K教室）
参加者	3年 40人
ねらい・目的	パラリンピック・パラスポーツの理解
活動内容	I' m possible を使った授業 ・パラリンピックとは ・パラスポーツの理解
生徒の反応	・ワークシートに熱心に取組んだ。 ・パラスポーツのクイズに取組みながら理解を深めた。 ・パラスポーツの意義についてよくわかった。
取組み結果	・障がいのある人もない人も共生できる社会への理解が深まった。 ・車いすバスケットについて知り、交流に向けて準備することができた。

## <カナダ岐阜県人会とのオンライン交流会>

開催日時	令和5年11月17日 8時45分～9時35分 (50分)
会場	本校 (メディアホール)
参加者	3年 40人
ねらい・目的	異文化理解、英語でのコミュニケーション
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語で地域の文化や観光などを紹介</li> <li>・カナダの魅力やカナダでの仕事内容の紹介</li> <li>・カナダ県人会の概要</li> </ul>
実施の様子	  <p>カナダ岐阜県人会の方とのオンライン交流の様子</p>
生徒の反応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・岐阜の魅力について英語で伝えることができた。</li> <li>・カナダに住む方の実際の話を知ることができ、英語で交流ができてよかった。</li> </ul>
取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プレゼンを利用し、相互に交流ができた。</li> <li>・英語でコミュニケーションすることで異文化交流でき英語学習の意識づけにもなった。</li> </ul>

## <車いすバスケットボール体験>

開催日時	令和5年12月7日 14時00分～15時00分 (60分)
会場	岐阜県福祉友愛アリーナ
参加者	3年 40人
ねらい・目的	パラスポーツを通じた共生社会への理解
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・岐阜 SHINE の選手による講演</li> <li>・車いすバスケットボール体験</li> </ul>
実施の様子	 <p>車いすバスケットボール体験の様子</p>
生徒の反応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・車いすバスケットボールが実際に体験でき有意義だった。</li> <li>・選手の方が車いすバスケットを始める経緯がわかり心に響いた。</li> <li>・「今できることに一生懸命取り組む」や「人との出会いは成長につながる」などの熱い言葉に感動した。</li> </ul>
取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実際に車いすに乗ることで、操作の難しさがわかり、生徒にとって貴重な体験となった。</li> <li>・選手の方の話を聞き、障がいのある人もない人もスポーツを通して交流できる素晴らしさを伝えていただき、生徒にも響いた。</li> <li>・体験を通して、多様性や共生社会について考えるきっかけとなった。</li> </ul>

## <カナダ選手に向けたメッセージ動画撮影>

開催日時	令和6年2月28日 16時00分～16時45分(45分)
会場	本校(野球部雨天練習場)
参加者	陸上部 36人
ねらい・目的	カナダ陸上チームとのホストタウン交流
活動内容	・カナダ陸上チームへの応援動画メッセージ
実施の様子	 <p>動画撮影の様子</p>
生徒の反応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カナダ陸上選手が岐阜県と関わりがあることを知り、応援したいと思った。</li> <li>・選手が岐阜に来た際には交流できたら良い。</li> <li>・</li> </ul>
取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・応援動画を送ることで、カナダ選手を身近に感じ、今後の交流の意識付けとなった。</li> <li>・パラスポーツへの関心をもつきっかけとなった。</li> <li>・スポーツを通して交流できることの楽しさを知り、英語の学習にもつながった。</li> </ul>

## 私立富田高等学校 実績報告書

学校名	私立富田高等学校			
所在地	岐阜県岐阜市野一色 4-17-1			
学校規模	全校生徒数	812 人	クラス数	26 学級
本事業への参加者	国際科 1～3 年・43 人			
実施概要	月	概 要		
	5 月	総合学習 (1 年)	どのような職業があるかを知り、自分の将来について考える。	
	6 月			
	7 月	国際理解講演会 (1・3 年)	カナダで働く方や県人会の方とのオンライン交流	
	8 月			
	9 月	総合学習 (1・3 年)	I' m possible での学習 ゴールボールについて	
	10 月			
	11 月	岐阜県ホストタウン交流事業 (1・3 年)	パラアスリートの方の講演と体験	
	12 月			
	1 月			
	2 月	岐阜県ホストタウン交流事業 (2 年)	パラリンピックカナダチームへのメッセージ動画撮影	
	3 月			

## 実施内容詳細

※上記の実施概要に記載した取組みのうち詳細報告頂ける取組みについて下記の様式を参考に記載してください

### <国際理解講演会>

開催日時	令和5年7月6日 9時50分～10時40分（50分）
会場	選択C教室
参加者	国際科1・3年 26人
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・菅野久志氏の講演</li> <li>・鷺見英樹氏の講演</li> </ul>
実施の様子	 <p>「講演の様子」</p>
児童・生徒の反応	海外で働くことを夢見る生徒もいるが、実際にどのような生活になるのかをイメージできている生徒は少ない為、講演を聞きながら、気になっていることを質問する姿が見られた。
取組み結果	海外で働くこと、生活することに漠然としたイメージしか持っていない生徒が多かったが、実際に海外で生活する方々のお話を聞くことができ、より具体的な考えを持つことができたように感じた。また留学を控えた1年生にもアドバイスをいただき、励みにもなったように感じた。

## <I' m possible を使った授業>

開催日時	令和5年10月26日 15時35分～16時25分 (50分)
会場	国際科1年生教室
参加者	1年 12人
ねらい・目的	I' m possible の動画視聴等を通して、共生社会について考えるきっかけを作る。
活動内容	I' m possible の動画を視聴し、パラリンピックとは何か、今後、どのような社会を目指していくべきかを各自で考える。
実施の様子	 <p>「授業の様子」</p>
児童・生徒の反応	<p>(生徒の感想より抜粋)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今、日本はまだユニバーサルデザインが進んでいない方だと思うし、人々の認識や理解的にも障がい者にとって行きやすい環境ではないと思う。ユニバーサルデザインを街にもっと増やして、私たち個人個人も彼らを理解して、より誰にとっても暮らしやすい社会になればいいと思う。</li> <li>・これからのパラリンピックを、多くの人々に知ってもらうことができれば、私たちは、障がいをもつ人々に対するの考え方や理解が深まり、障がいを持つ人々がもっと暮らしやすい世界になると思います。</li> </ul>
取組み結果	普段、あまり意識して考えることの無い部分について考えるきっかけとなったように感じる。特に、ユニバーサルデザインなどについて触れている生徒もおり、普段の日常生活に絡めて考えている生徒も見られた。

## <田口選手との交流会、パラリンピック競技の体験>

開催日時	令和5年11月14日 14時20分～15時10分(50分)
会場	体育館
参加者	国際科1・3年 26人
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・田口選手のご講演</li> <li>・ゴールボール体験</li> </ul>
実施の様子	 <p>「田口選手ご講演の様子」</p>  <p>「ゴールボール体験時の様子」</p>
児童・生徒の反応	<p>普段、経験することのできない競技を体験することができ、難しいと感じている部分もあったが、それ以上に楽しみながら体験している様子が見られた。</p>
取組み結果	<p>お話を聞くだけでなく実際に自分自身で経験することで、何が大変かなどがより具体的にイメージでき、今後生活していく中で、できることなどについても考えるきっかけになったのではないかと思います。</p>